



学校だより

清流

立山町立立山中央小学校

令和3年8月

二学期も自分らしさを発揮し、輝く子供たちに！

いよいよ2学期がスタートしました。子供たちは大きな事故やけがもなく、元気に登校してくれました。2学期の始業式は、リモートで各教室を繋いで行いました。子供たちは、「2学期最初の授業」でもあった校長先生の話真剣な様子で聞いていました。そのときの校長先生の話の皆様にご紹介します。



校長先生の話もリモートで行いました。

【始業式での校長先生の話より】

1学期の終業式に、校長先生が出した二つの宿題を覚えていますか。

一つ目は、自分の命を大切にすること。そして、二つ目は、夏休みが終わったときに、「がんばったことやできるようになったこと」を三つ以上言えるようにすることでした。みなさんの元気な姿、すてきな笑顔がそろって本当に嬉しです。では、夏休み中、「がんばったことやできるようになったこと」を三つ以上言えますか？

二つの宿題ができた人には、大きな金メダルをあげましょう。

金メダルといえば、今年の夏はオリンピックがありました。そして、今、パラリンピックが開かれています。日本選手の活躍を、みなさんも応援していたことと思います。

校長先生は、つい最近、パラリンピックの水泳を見てとても感動しました。

この人を知っていますか。山田美幸さんと言います。14歳の水泳選手です。東京パラリンピック第1号、そして日本史上最年少メダリストです。山田さんは、生まれつき両腕がなく、両脚も左右で長さがちがっています。山田さんがなぜ水泳を始めたかと言うと、保育園時代にぜんそくという病気で、それを克服しようとしたこと、そして、「お風呂でおぼれないように」という理由で水泳を始めたそうです。水泳を始めた頃は、真っ直ぐに泳ぐことができませんでした。それでも力強いキックと、頭を少し傾げることで真っ直ぐ泳げるように工夫したのだそうです。たくさんの努力をしたのでしょうね。

オリンピックやパラリンピックを見て、メダルをとった選手も、とれなかった選手も、すべての選手が目標に向かって努力している姿、必死にがんばっている姿がとても素晴らしく、輝いて見えました。そのような選手の姿に世界中の人たちも感動し、応援していたのだと思います。校長先生は、オリンピック、パラリンピックに参加した全ての選手が金メダルだったと思います。

ところで、中央っ子のみなさんも、2学期の目標をもっていると思います。みなさんが「感謝する子」「挑戦する子」「努力する子」になるために、先生たちも一生懸命に応援していきます。みなさんも目標に向かって、少しずつでいいので努力することを続けてください。

2学期の終業式までに、みなさんがどれだけ成長するか、そして、たくさんの笑顔に会えることを楽しみにしています。



リモートで校長先生の話聞く子供たち

子供たち一人一人に、また一つ「心の種」が蒔かれました。

お子様がこのお話をどのように受け止め、どんなことを感じたのか、ぜひ、ご家庭で話題にさせていただきたいと思います。

子供たちには、目標に向かって粘り強く挑戦し、努力を積み重ねていく経験をとおして、自信をもって自分らしさを発揮できる機会を少しでも増やしてあげたいと考えています。教職員一同、力を合わせて子供たちを支えてまいります。

ご家庭でも、ぜひ、頑張る子供たちを大いに認めてあげてください。